



学校だより

かけ橋

パート III

横須賀市立汐入小学校 校長室

2013. 9. 9

No. 11

元気でやりぬく子  
すすんで学ぶ子  
思いやりのある子

## 登校見守り

夏休み明け、各地で竜巻や洪水など、自然災害が相次いでいます。本校の子どもたちは、登下校を地域の方々に見守られており、安心な部分が多いと思います。

個人的に緑の腕章をつけて、見回ってくださる方もいらっしゃいますが、汐留町内会の方々、町内として組織的に、登下校の見守りをしてくださっています。PTAの方も、新学期と長期休業明けに、横断中の旗を持って、見守りにあたってくださっています。

夏休み明けからは、宮元町内会の方々も、町内として見守りにあたってくださっています。8月30日には、汐入交番の交差点に、緑の交通安全ベストを着て、横断中の旗を持った方々が立ってくださいました。

登校の見守りは、安全確保の意味もありますが、大きな目的は、あいさつ運動にあると考えています。「朝、登校途中に、地域の大人の人に来て、元気にあいさつする。」そんな子どもたちになって欲しいと思っています。

先日、学校通りで毎朝見守りしてくださっている方から、次のようなことを言われました。

「校長先生、新しい転入生が来ましたか？あの子は、夏休み前までいなかったようですが・・・。」

転入生ではないのですが、夏休み中に学区内で転居したので、通学路が変わった子でした。毎日見ているので、気がつかれたのだなと感心するとともに、ありがたいと感じました。



## 全校草取りタイム

9月2日（月）全校草取りタイムを実施しました。子どもたちに、「自分たちで使う場所を自分たちで整備する」という気持ちを伝えたくて実施しました。しかし、子どもの手なので、完全にきれいにすることは難しい部分もあります。最終的な仕上げは、用務員さんがやってくれますが、少しでも、自分もやったという経験をさせたくて実施しました。

当日は、天気がよく、とても暑かったのですが、汐入の子は、はりきって作業していました。

「いくら力を入れても、抜けませーん。」

「雑草でも、いろいろあるなー。稲みたいな雑草もある。」  
実施した時間は、たったの10分でしたが、全校で大きなゴミ袋で、10袋がいっぱいになりました。

当日、特にお声かけしていなかったのですが、保護者の方で、自主的に参加してくださった方もいらっしゃいました。とてもうれしいことでした。



# 学級懇談会

9月5日（木）学級懇談会が行われました。夏休みのご家庭での様子や夏休み後の学校での様子が話し合われました。大勢の保護者の方にご来校いただきありがとうございました。

最近はお仕事をされていたり、いろいろと忙しかったりして、懇談会の参加も少なくなりがちです。学校によっては、授業参観があると、大勢参加するけど、懇談会だけでは参加する人が少ないという話も聞きます。しかし、本校では、違います。

ある先生が、次のような感想を漏らしていました。

「今までの勤務してきた学校で、一番懇談会の出席率がいいわ。」

今回は、懇談会だけでしたが、半数以上の保護者の方が参加していただきました。汐入小に子どもが1人ならその教室にずっといられるのですが、2人、3人と兄弟がいると、お家の方も大変です。本当にお疲れ様でした。

当日参加できなくても、連絡帳を使って、お家の方の思いを担任に伝えておいていただくありがたいと思います。実際、夏休みの様子を書いてきてくださったり、統計図表の取り組みのお礼を書いてくださったりしている方もいらっしゃいます。保護者の方の率直なご意見は、教員にとって、とても励みになります。

## 9月の玄関クイズ

夏休み中に、玄関のクイズを考えて、掲示しておきました。

□に入る漢字は何でしょう？

①一□二□

②二□三□

③三□四□

④四□五□

③が、一番難しく、大人でもなかなか分かりません。横にヒントが書いてあるのですが、それでも難しいらしく、「ぜんぶ分かった人は、校長室へ来て下さい。」といつものように書いてあるのですが、今のところ一人も来ていません。

以前に出した玄関クイズで、おもしろいことがありました。5年生の教科書から抜粋した次のような問題です。

「夏はきぬ」の歌詞を読めますか？

卯の花の 匂う 垣根に 時鳥 早もき なきて

忍び音 もらす 夏は来ぬ

私にとって、歌いながら歌詞を思い出すくらい、ポピュラーな曲なのですが、職員室である先生に聞いてみたら、全然分からないのです。歌ってあげても、聞いたことがないということでした。不思議に思い、何人かの先生に聞いてみると、40歳くらい以上の人たちは、みんな知っていて、それより若い人は、聞いたこともないということが分かりました。

世代によって、常識だと思えることが違う、これがジェネレーションギャップというものかと、改めて考えさせられました。他にも似たような例があるかもしれませんね。